

多摩市議会議員 政党や特定団体の支援を一切受けず完全無所属で活動中

# 岩永ひさか Report

<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

発行/岩永ひさかと夢・まち会議 Phone (留守番電話専用) / 042-371-0763



## 庁舎が狭い…教育委員会がベルブ永山に移転します。

9月議会の補正予算で、現在、市役所の第2庁舎2階にある「教育委員会事務局」の移転に必要な工事費用、備品など、伴う経費も含め、8千万円を超える予算が認められました。

ベルブ永山には永山公民館、永山図書館、消費生活センターがありますが、それ以外にも、新都市センター開発が所有する区画における賃貸契約により、過去にはすでに廃止された創業支援施設「ビジネススクエア多摩」の開設、臨時給付金、ワクチン接種事務なども行ってきました。

今回は、4階と5階にあったマイナンバーカードセンター、しごと・くらし・サポートステーションを2階に移設させたことに伴い、空き室が生じたことを踏まえた対応とのこと。本庁舎が手狭である中、教育委員会事務局が使用している現在の場所とほぼ同等の床面積を確保することができるという説明です。

もちろん、新しい本庁舎ができる(2029年度/令和11年度)までの「仮移転」であり、暫定的な措置とのことですが、ずいぶん急な話し…という印象が否めません。

また、学校教育との関係が深い子育て世帯にとっては、「子ども青少年部」にも同時に相談、手続きを行いたい場合に、一か所で用事を済ませることができず、ある意味、不便になる可能性も想定できます。

市民サービスへの影響が最小限となるように取り組むとしていますが、'めざすべき市民サービス第一'はどうなるやら…不安です。厳しさ増す財政にあって、めざすべきは分散ではなく、集約化ではないかと思えます。今回の対応は、あくまでも一時的となるわけですが…。

教育委員会の移転先。ベルブ永山。



### Policy & Style

**公平公正な姿勢!**  
市民全体に向けた活動を心がけ、個人後援会はつくりません。

**話し合いが大切!**

意見の違いは粘り強く議論をつけることで、「第3の道」を見つける努力をします。

**政策づくりが議員の仕事!**

議員としての専門性を磨き、市民の自治力の向上をバックアップします。

### PROFILE

1977年 兵庫県神戸市生まれ/1989年 北諏訪小学校卒/1992年 桐朋女子中学校卒/1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒/1999年 中央大学法学部政治学科卒/1999年~2002年 中小企業金融公庫(今の日本政策金融公庫)勤務/2006年 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了(公共政策学修士)  
2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙当選以降6回当選  
2022年現在 諏訪2丁目在住

**Phone & Fax** 留守番電話専用電話

お名前、ご用件と希望する連絡先・アドレスなどをお願いします。

☎: 042-371-0763

mail: hisaka\_box@yahoo.co.jp



「市議会議員の仕事のやりがいは?」

突然尋ねられると、意外と…難しい。でも、私は「市議会議員」という立場は、国会議員や都議会議員よりも、市民との距離が近く、市民と一緒に「多摩市」という場所にこだわり、多摩市の将来を考えつつ、市民の皆さんお一人ひとりの「より良い暮らし」を実現するためにできることは何かを考えたり、ともに実践できたりするところが自分にとって一番の励みになっています。

来春は統一地方選挙となり、あと半年で改選期を迎えることとなります。これまでの自分の活動を振り返りながら、「おごらず、あせらず、くさらず」を自分自身にしっかりと刻み込み、市民の目線を大切に、これからのことも考えていこうと思います。

議会での活動も決して思い通りにはいきません。ここ数年で、古くなった公共施設が次々とリニューアルオープンし、そしてまた、来年7月には多摩中央公園に今までの約2倍もの床面積のある図書館本館が「中央図書館」として開館する予定です。

人口減少社会に向かっていく多摩市。税収入も、支える人手も決して安泰とは言えず、むしろ先細りです。こうした状況を踏まえることがますます求められるように思います。

残念ながら、「議会全体が示す結果=民意」と「私の意見や考え」が相反することもあります。一つひとつの結論を受け止めながら、子どもたちの未来に負担を先送りしてはいけない…という立場だけは、ブレずに。その想いを一段と強くしながら、秋の風を感じています。

みなさまにとって実り多き秋になりますように。

2022年秋

岩永ひさか

### Pickup!

乞田八幡神社の例大祭。式典だけの開催でした。来年こそ、にぎやかに御神輿、御囃子…巡行できますように。



防災訓練参加されていますか? 皆さんと一緒に考えたい  
**今号のテーマはこちら!**

**避難所設営。**  
いざというとき、  
私たちにできる?

## 避難所設営。いざというとき、私たちにできる？

新型コロナウイルスの感染により、中止されていた総合防災訓練。実に、3年ぶりの開催となりました。しかし、まだまだ感染症を意識して取り組む必要があり、以前のような規模での開催は見送り、今回は「住民の安否確認」と「避難所設営訓練」が行われました。

### 安否確認「黄色」が目印！

「住民の安否確認」訓練は、災害発生時に、周囲への「無事」の周知方法で、逃げ遅れを防ぐための発見手段です。市では下記のように市民の皆さんに呼びかけをしています。

(多摩市公式ホームページより)

「地震災害時の安否確認の手段の一つとして、「無事」を伝える黄色旗等を掲示する方法があります。短時間での安否確認と共に、救助が必要な人がいるか即座に判断できる目印になります。」

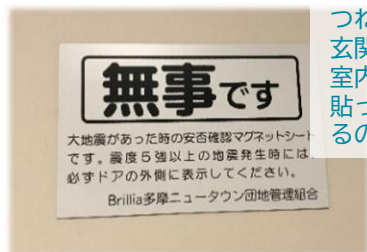
実は多摩市では今年の春頃より、家庭用の可燃ごみ用「黄色いごみ袋」に「無事」の文字を印字したものが販売され、いざというときに活用していただけるようになりました(最小5リットルサイズは除く)。

改めて、私たちが日々、使っている「黄色のごみ袋」のデザイン変更を意識してご覧になり、災害時にも使えることを確認していただきたいと思えます。



左側が  
現在販売  
している  
ごみ袋。

私の住んでいるマンションでは住民にマグネットが配布され、災害発生時には、玄関ドアの外側に掲示するルールになっています。いつも最小5リットルサイズのごみ袋を使用する私も、何かの時のために…「10リットルサイズ」を自宅に保管しています。



つねに、  
玄関ドアの  
室内側に  
貼っておけ  
るので便利。

自治会、管理組合など、地区ごとの決め事もあるかもしれませんが、ぜひ、多摩市の「黄色いごみ袋」のこと、心に留めておきたいですね。

### 私たちと防災訓練。

さて、「防災訓練」について私たちは日々、どんな認識を持っているのでしょうか。

災害への備えは必要だと思っても、地域の訓練などに積極的に参加している方は少数派かもしれません。日々の暮らしの中で、優先すべき私用のため、地域行事として開催される防災訓練の参加が難しい方も多いことでしょう。

しかし、今回、3年ぶりに開催された総合防災訓練に参加し、やはり、複数の参加者どうしが、見えてきた課題を共有していくことの必要性を何よりも強く感じました。



総合防災訓練・  
諏訪小学校の  
体育館にて。

例えば、いざ避難所を開設しようと思っても、防災倉庫の鍵…「あれ、倉庫がうまく開けられないぞ！」から始まり、実際に学校の体育館、校舎を使用するとなっても、教室のレイアウトなど「どうなっているの？」…即座に把握することができず、しかし、校舎内の見取り図など、避難所設営のためのマニュアルも含め一人分、一式しか準備されていない等々。

また、「密にならない」を意識すれば、窓や扉などは常時開けておく必要もありますが…学校施設には網戸がありません。半端なく飛び交うのが虫(特に夏場は蚊)。「虫対策」は必須です。

### 防災力の向上をめざすために、訓練の機会を活かす！

議会でも「簡易に設置できるような網戸代わりになるようなものが必要」という意見が出されましたが、今回、諏訪小学校体育館での避難所設営訓練に参加して、私自身も強く実感した点です。

こうした点を含め、やってみて初めて気が付く点があります。季節ごとにも、その課題が若干変わる場合もあるでしょう。

そして、身体の不自由な方、障がいをお持ちの方、あるいは、妊婦さんをはじめ、より気を配らなければならない方々へのフォローも必要となります。家族同様のペットとともに避難される方もいらしゃることが想定できます。

訓練に訓練を重ねていたとしても、実際はその通りにはいかない…想像に難しくありません。とは言え、訓練しているからこそ、多少は行動することができるといのもまた事実。

その意味で、年に一度であっても、訓練に参加をするということは大切です。そして何よりも、自治会や管理組合どうしてネットワークをつくるために「顔見知りになっておく」ことも必要ですね。訓練を通じ、近隣地区の方々と知り合っていくことの意義(市民の行動力アップに繋がること)こそ大きいのかもしれません。



熱心に課題の共有  
が行われました！

ひとつおわり終了後、市の防災安全課の職員の皆さんも一緒に課題の共有。さらに地域の防災力向上へとつなげていきたいものです。